

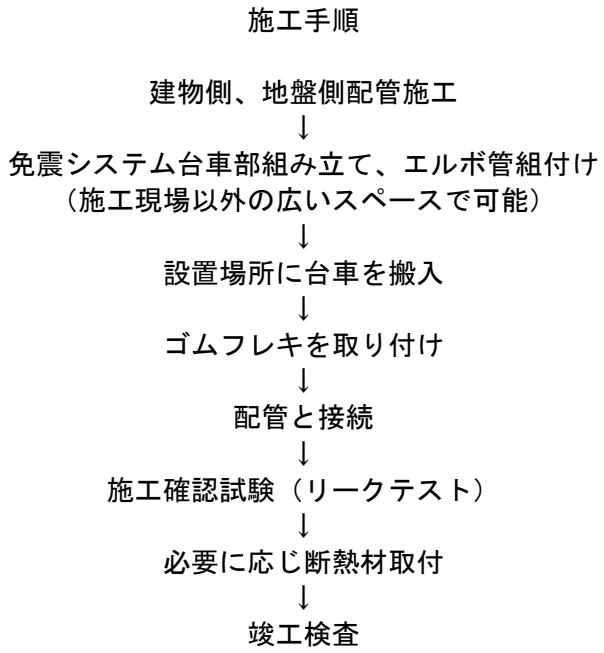
設備工事情報シート	衛生	I-P-37-改 <sub>2</sub>	制定	2005年4月1日
			改訂	2015年3月1日

施工要領	免震装置・免震継手	倉敷化工編
------	-----------	-------

1. 目的・概要

近年、大型免震物件では400A程度までの免震装置のニーズが発生しているが、従来の免震フレキシシステムは100A前後の配管を中心に考えられていた。  
 ここでは、大口径配管専用開発された免震システムを紹介する。

2. 施工手順および注意ポイント



注意ポイント

施工スペースの確認  
 配管高さの確認  
 (床上700~1,500mmが最適範囲である。)

作業スペースの確認  
 周囲に障害物がないように免震装置が  
 占有するエリアが必要である。

3. 施工例

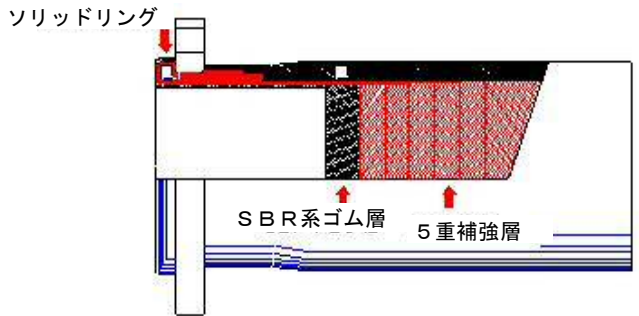


300A×400A連キャスター (施工中)  
 高床タイプ

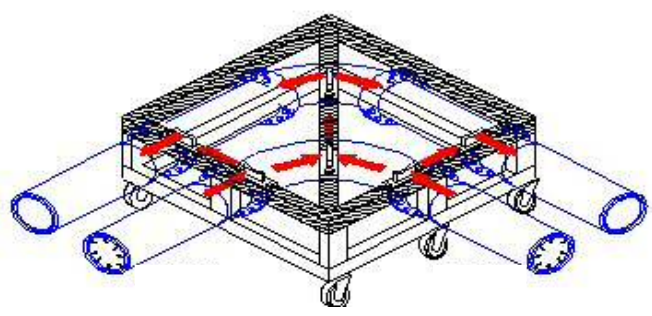


400A×4系統連キャスター (施工中)  
 低床タイプ

4. 大口径専用設計免震フレキの特長

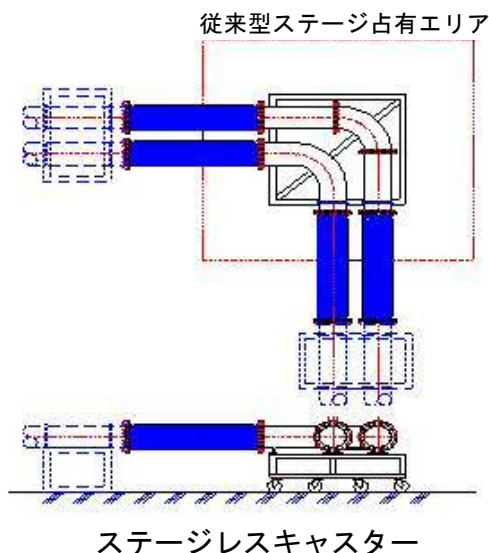


HYPER-6



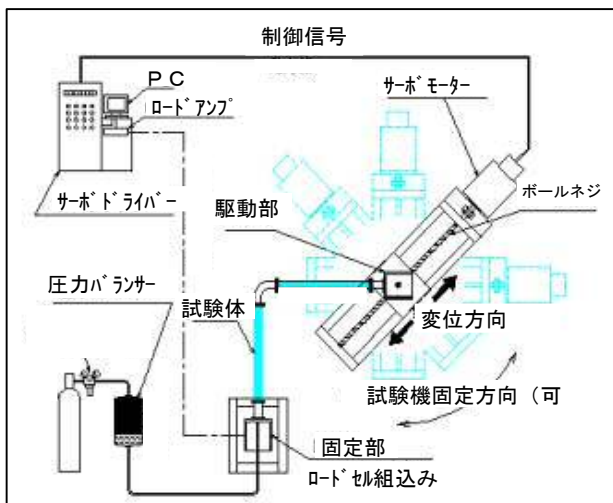
△フレーム

# 資 料



- (1) 6重強化されたフレキ本体  
↓  
変位時の低反力と耐圧耐久性の両立  
(HYPER-6)
- (2) 強度に優れた架台構造  
↓  
系統間圧力差による反力に対処  
(△フレーム)
- (3) 床面に直接設置・直接移動  
↓  
施工とメンテナンス性の向上  
(ステージレスキャスター)

## 5. 試験装置



最大試験口径 500A



限界変位試験  
免震量500mm用を700mmまで変位

大口径フレキの特性を十分に検証するためには、大きな試験能力を持った専用の試験機が不可欠。クラシキでは自社開発の大型免震フレキ試験機を投入しJSSI (※) を超える厳しい条件でテストを行っている。

(JSSI・・・社団法人 日本免震構造協会)

### 【 試験機能力 】

最大試験力 (静荷重)	50 kN
	サーボモーター
	ボールネジ駆動
最大試験速度	120cm/sec
最大変位量	±1,000mm
反力計測部	ロードセル (2方向同時測定)
制御装置	PC+サーボドライバ
加圧装置	窒素ガス+圧力バランサー

## 6. 問い合わせ先

本社工場	〒712-8555	倉敷市連島町矢柄四の町4630	TEL086-465-1715
東京支店	〒108-0014	東京都港区芝4-10-5	TEL03-5442-8211
名古屋営業所	〒460-0003	名古屋市中区錦2-4-23	TEL052-202-3060
大阪営業所	〒550-0004	大阪市西区靱本町1-8-2	TEL06-6445-2411
中・四国営業所	〒712-8555	倉敷市連島町矢柄四の町4630	TEL086-465-1718
広島営業所	〒732-0054	広島市東区愛宕町4-1	TEL082-506-2707
福岡営業所	〒812-0015	福岡市博多区山王1-1-32	TEL092-472-7273
仙台営業所	〒983-0045	仙台市宮城野区宮城野1-21-3	TEL022-297-0821
URL: <a href="http://www.kuraka.co.jp">http://www.kuraka.co.jp</a>			